

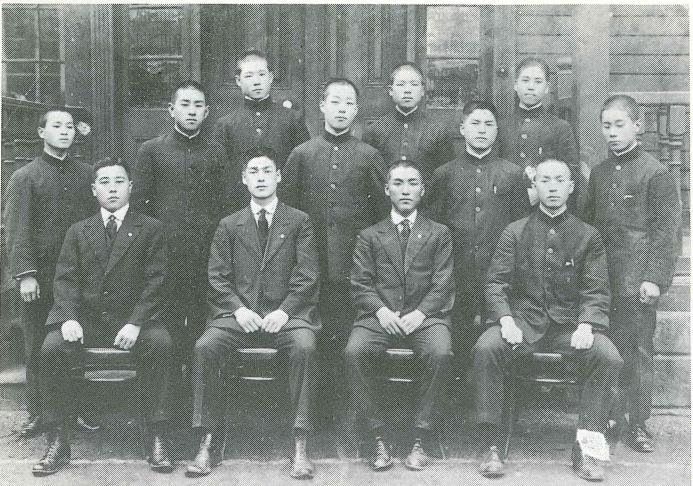
# 辰 鈴木商店の思い出 (3)

横浜支店時代 中村元義

私の神戸時代一ヶ年は余りにも単調でありましたが大きく時代の流れとして觀察すれば此の大正六年に跨る二ヶ年は辰鈴木により大変なる時期到来、大戦乱に日本は連合国として物資補給の重責からも辰重役は素より社員一同大変な活動を強行せられ今日でも「たつみ」誌上でその実績をお見受けする通り見習員も此の時期から「ほんさん」なる呼び方は消へて夫々の部所で一人前の仕事を委せられ活躍の出来た時期であつたと思います。

当時横浜支店に勤務するものの夫々の仕事の概略を記します。私が支店へ行きました時は昭和七年の三月頃?先ず輸出部は歐洲向けの食料品(缶詰など)で主任には中島健吉氏、中川喜代造氏、加藤泰三郎氏、丹野甚之助氏などであったが間もなく缶詰輸出は中止となりその後中川氏が羽二重部へ残

諸士許りで總て理解ある結論が出され非常に嬉しかった。中に高松峻一氏と村上弘一氏は寮の三階、(旧外人宅の物置)へ移り頑張りの構へなど寮もどうにか落着を見るようになつた。今一つ教育係の問題、或る朝私は会社へ新しい背広を着用して出勤して居たら川添主任は「中村君見習員が背広を着用することは出来ないことに教育係より通達があつた、昨日北村支配人から某君が叱かられ寮へ着換へ帰つた、君も着換へて来給



○印の社員昇格を記念して(大正8年始め頃)

中川 清俊 見習員と言ふ肩書き  
永野 晓 竹崎鶴太郎 仲上 謙吾  
藤崎 俊次 ○中村 元義 岩井 正一  
○伊勢川俊男 小川 秀一 ○河井 清  
美士 路某 悅 機会を得、私の服  
を詳しく説明申せ  
しところたち所に

「へ」と之を聞いて私は一瞬いやな気持ちになつた。それは某君が会社の会計から月給の前借をしていたので会計の手緩い扱いを引締める目的もあつて支配人が強い態度に出られたものと理解されたが、私は之を素直に受入れる事出来ず横浜へ入る膨大な商品即ち大豆、小麦、砂糖、外米、米材葉煙草等の大量で高額な貨物は本船から各営業倉庫へ入庫する迄の道程で荷役中の目減り、潮漏等の損失を最少限に止める、又潮漏等の内本船海難に関するものは保険会社に立会いをさせ損害請求の手続きをとる等担当する者は川添主任、村上次席と続いて私現場係の外になく其の責任を完遂する為、詰襟のぼんさんはもとより

御理解御承認あり中村は例外として承認すると決定せられて私は自分の誠意を認められし事最大の喜びであり、川添主任にも喜んで頂きました。

次に神戸本店焼打事件につづき横浜、東京と暴動拡大の気配が濃厚になった七年八月十四日であつたか確か新聞号外で暴徒の一部は違ひなく襲来するとの報道、私共全員も五時頃仕事を終へ寮へ帰りました。併し私共三人(内二人氏名忘却)気懸りで就寝出来ず遠くから状況を見るべく再度寮から出て山下公園の北側尾上通に近着きしき急に暴徒若干が通りに突然肩を掴んで刑事であろう有投石し。それを取巻く暴民が集合其の数を増しつゝあつた。私は固唾を飲んで見守つてゐるとき後から突然肩を掴んで刑事である有無を言はせず本署へ來いと引立てられた、山下公園の反対側に近い加賀町警察署で取調べるどころかいきなり豚箱と言うのであろう四畳半位の四方厚い壁、天井近くに一尺四角位の明り取一個のみ最初私一人が更に次から次へと続き最終に七人、翌午前七時頃其顔の見分けもつかず昏頃も全くやりつ

り他の諸氏は何れかへ転任になつたが私は当所へ着任の日浅く記憶にはこつていません。次に輸入部は川添久吉氏、次席村上弘一氏、そこへ私中村少し遅れて伊勢川俊男君(全君は二年程後に)河井清君と交替以上四人で仕事は輸入部と船舶部を兼ね後者は本店船舶部が運営している帝国汽船や国際汽船など横浜入港のものを荷物の取扱(輸出貨物の集貨輸入貨物の荷卸し引渡)を扱い、輸入部と申すのは主として本店の輸入物資で横浜揚げのものを本船から荷卸し倉入れ(中には東京へ転回漕のものもあり夫々本店の指図により荷捌きをする)以上の外に殆んど神戸本店鉄材部の指図で特に当時は日本関係で重大問題化した船鉄交換品の納品の為別に鉄材部を新設拡大し主任として井上光次氏が横浜へ転任して来られ以前より勤務の山下元徳氏が次席となられ引續き

重部主任東川義房氏(以下両部会記順序不同敬称略)植木等、天羽正人、中川嘉代造、佐藤悦郎、長谷愛治、堀口菊造、叶野健治、石堂儀一、泉威八郎、伴惣吉、村元増衛、後藤薰、志智繁三郎、浜田林蔵、堂繁次郎、広野敬吾、角田博義、遊川益三、福川武尚、近藤某高松峻一、永野暁、竹崎鶴太郎、小川怒、島井正一、原口秀一、洲崎俊次、仲上謙吾、曾根好雄、山口(現岩瀬)聖一、関五郎、(3)経理庶務部、小川善太郎、島本波雄小川實三郎、建部清四郎、山本浜

盛岡、福島、福田君其他三人許り増員せられた但し鉄材部も二、三年間に主任が阪上忠次郎氏更に佐々木某氏と交替したる事他の方と同じく目まぐるしいことありました。

猪以上私共と同室の陣容を記し

ましたが此の外の一室に生糸部、羽二重部が大正六年に開設せられ此の二部は本店の御手伝いで運営している帝国汽船や国際汽船など横浜入港のものを荷物の取扱(輸出貨物の集貨輸入貨物の荷卸し引渡)を扱い、輸入部と申すのは主として本店の輸入物資で横浜揚げのものを本船から荷卸し倉入れ(中には東京へ転回漕のものもあり夫々本店の指図により荷捌きをする)以上の外に殆んど神戸本店鉄材部の指図で特に当時は日本関係で重大問題化した船鉄交換品の納品の為別に鉄材部を新設拡大し主任として井上光次氏が横浜へ転任して来られ以前より勤務の山下元徳氏が次席となられ引續き

以上支店全員数は且て見ざる急上昇にて寮生活も大変でした。勿論自宅を搜がし落着くもの海外にて来ましたが、丁度其の時分本店に教育係が任命せられ見習員を指導する立場から支店長宛寮生の現状及び希望事項等照会せられ支店長は私共見習員の回覧に附せられました。私は早速自分の感想及び希望を書き並べ何等かのルールを定め欲しいと書き差しました。

(1)生糸部主任林大作氏、(2)羽二重部主任東川義房氏(以下両部会記順序不同敬称略)植木等、天羽正人、中川嘉代造、佐藤悦郎、長谷愛治、堀口菊造、叶野健治、石堂儀一、泉威八郎、伴惣吉、村元増衛、後藤薰、志智繁三郎、浜田林蔵、堂繁次郎、広野敬吾、角田博義、遊川益三、福川武尚、近藤某高松峻一、永野暁、竹崎鶴太郎、小川怒、島井正一、原口秀一、洲崎俊次、仲上謙吾、曾根好雄、山口(現岩瀬)聖一、関五郎、(3)経理庶務部、小川善太郎、島本波雄小川實三郎、建部清四郎、山本浜

の「一挙手一投足の労のみ」と記し全員の回覧に附したので私は生じたが私の兄貴分村上弘一氏は「心配するな文句があつたら自分が相手になつてやる」と大変な意気込みました。そして寮生の全体会議が開かれたが流石高等教育を受けられた

以上支店全員数は且て見ざる急上昇にて寮生活も大変でした。勿論自宅を搜がし落着くもの海外にて来ましたが、丁度其の時分本店に教育係が任命せられ見習員を指導する立場から支店長宛寮生の現状及び希望事項等照会せられ支店長は私共見習員の回覧に附せられました。私は早速自分の感想及び希望を書き並べ何等かのルールを定め欲しいと書き差しました。

支店長は早速私の文書の欄外に赤インキで「かゝる事の処理は寮生の一挙手一投足の労のみ」と記し全員の回覧に附したので私は生じたが私の兄貴分村上弘一氏は「心配するな文句があつたら自分が相手になつてやる」と大変な意気込みました。そして寮生の全体会議が開かれたが流石高等教育を受けられた

以上支店全員数は且て見ざる急上昇にて寮生活も大変でした。勿論自宅を搜がし落着くもの海外にて来ましたが、丁度其の時分本店に教育係が任命せられ見習員を指導する立場から支店長宛寮生の現状及び希望事項等照会せられ支店長は私共見習員の回覧に附せられました。私は早速自分の感想及び希望を書き並べ何等かのルールを定め欲しいと書き差しました。

支店長は早速私の文書の欄外に赤インキで「かゝる事の処理は寮生の一挙手一投足の労のみ」と記し全員の回覧に附したので私は生じたが私の兄貴分村上弘一氏は「心配するな文句があつたら自分が相手になつてやる」と大変な意気込みました。そして寮生の全体会議が開かれたが流石高等教育を受けられた

又本望とする処です。

## 鎌倉の詩

七里が浜のいそ伝ひ  
稻村が崎名将の  
剣投げし古戦場  
極楽寺坂越え行けば  
長谷觀音の堂近く  
露坐の大仏おわします  
由比の浜べを右に見て  
雪の下村過行けば  
八幡宮の御社  
上るや石のきざはしの  
左に高き大銀杏

(12)



▲55年8月6日六甲太陽寮で

◆写真右から小倉/柳田/松下  
大幡/藤田/斎藤/西川

一二ブリック、二ブリック、パターの六本で全部がヒッコリーシャフトでした。ズックのパックに入っていた一組の代金は五〇円だった。これを意気揚々とかつて家に帰つたら、室内から大変な苦情が出た。それもその筈で当時月給は殆ど費いはたして一文も渡していない有様だったから、その時のことは今日でもよく覚えております。

御影の家から阪神電車で鳴尾駅まで行き、そこからゴルフ場まで、大正十一年から十四年まで大連にてくく歩いていったものです。弁当も持参したものでした。大分たつてから馬車が通うようになりました。ゴルフ場はもと芦原だったところで、方々に沼や池があつてボールがよくなくなりました。それで上海からロストボールを輸入してきました。我々初心のものは大いに助かりました。値段が新しいもの、四分の一位だったと覚えております。

大正十一年から十四年まで大連に居りましたが、星が浦ゴルフ場にはよく通いました。往復オートバイを飛ばしたもので、大変よい道で一時間位だったと思っています。一度急に牛が飛び出して来て、道路側の溝にはまり、オートバイはこわれるし、方々に怪我をしましたが、こわれた車を引張つてヘトヘトになつて帰つたことがありました。

その頃神戸から鳴尾俱楽部の会費が納まつてない、直ぐ払込みと除名するという手紙がきました。請求書が全然きていないし、一度の催促も受けたこともないのに、突然こんな手紙を寄越すとはと、かんくにおこつて勝手にしろとやめてしましました。

かが盛んに論じられているけれど、せんじつめれば、働くことと遊ぶことにほかならない。

古来日本人は遊びの精神が豊かであった。大人の遊びは道楽とよばれている。道を楽しむのだ。働いて食つて糞をして寝るだけの生活は、馬車馬同様で働く間に食つて糞して寝るのは豚同様、人間の人間たる所以は道楽にぞある。テ

問はばや遠き世々の跡

若宮堂の舞の袖

静のおだまきくりかへし

かへせし人をしのびつ、

鎌倉宮にまうでては

尽せぬ親王のみうらみに

悲憤の涙わきぬべし

歴史は長き七百年

興乏すべてゆめに似て

英雄墓はこけ蒸しぬ

建長園覺吉寺の

山門高き松風に

昔の音やこもるらん

代と比較するだけた違ひの安価なものであつた。

二人連れでお茶屋遊び、付出し、

ビール二本、芸者一人、二時間の遊びでコリヤコリヤ……チップを入れて二十円也「又お近い内に」

と玄関に送り出されたものである。

稽古事も月謝が安く、その頃流

行し出した小唄も一週間稽古で五

円、長唄、常盤津等大体月五円が相場。

一番あがると、すぐお茶屋でおさえをするというのが当時の芸者遊び。

賭事が好きで、八八の花札遊びが旦那の遊びだというのでよくやつたが、タマタマ誘われてカブと

言うのに手を出した。四一（シツピン）もやつたが訳の判らぬ内に

金を捲上げられて面白くなかった。

麻雀をするようにになって、道楽は之丈になつた。若い時からやつていたので、その頃の有段者として畏敬された。

さて買う方であるが、皆それぞの買方があつて明らかにしたく

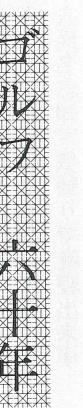
尚盛んであることは買うことが上手かな、さしづめ私なぞ人間らしい人間というのでしょうか。

号と金がかゝること夥しい。七十を過ぎて八十近くになつてきたが、

それで買つたが、皆それぞの買方があつて明らかにしたく

尚盛んであることは買うことが上手かな、さしづめ私なぞ人間らしい人間といつてよろしく。

## 大幡久一



### 藤内金次

「人間性」とか「生きがい」とかが盛んに論じられているけれど、せんじつめれば、働くことと遊ぶことにほかならない。

古来日本人は遊びの精神が豊かであった。大人の遊びは道楽とよばれている。道を楽しむのだ。働いて食つて糞をして寝るだけの生活は、馬車馬同様で働く間に食つて糞して寝るのは豚同様、人間の

ナわけでその三大道楽が、飲む、打つ、買うとなればさしづめあなたなど、もつとも人間らしい人間だつたということになりはしませんか？

喜寿を迎えて私も辰巳会誌の番付に名前が出る、諸先輩の仲間入りが出来ることで、少し言わしてもらおうと思う。

明治生れの私達の若い時、遊びには金がかゝったが、それでも現

十四年春だったと思う。ロンドンの高畠さんから神戸本店へゴルフ・クラブが十五組送られてきた。その一組を分けてもらい永井さんに願いして早速鳴尾ゴルフ俱楽部に入れて戴いた。これが私のゴルフ生涯の第一歩でありました。俱楽部の入会金は五〇円だったが、私の場合、鈴木商店の店

員ということで半額の二五円だった。何でも土地は鈴木商店のもので俱楽部がたゞで使わせてもらつているからだということだつたと記憶しています。

それからゴルフクラブですが、木がドライバー、グラッサー、スプーンの三本で金がアイラン、ミッドアイラン、マッシー、マッシ

こんなことがあつたので、大正十四年神戸に帰ると茨木カントリークラブに入会を申込みましたが幸い許可になりました。何方に幹旋していましたが、また何月だつたか正確なこと知りたくて、二、三年前のことですが茨木の事務局の方にお調をお願いしましたが戦前のことは書類が無くなつたので全然解らぬとのことでありました。昭和五年の春小野君の御母堂が病氣の為め帰朝されること、なり私が代りに、ロンドンの駐在員になりました。小野君は帰朝の前、近郊のゴルフ場を方々案内してくれましたが名前は皆忘れました。それで、その車で帰つたのですがタクシー代が一〇円でした。今から思ふと贅沢だったようですね。

大屋君とはよく広野に行つたのです。明石まで電車で、そこからタクシーでゆき、待たせておいて、その車で帰つたのですがタクシー代が一〇円でした。今から思ふと贅沢だったようですね。

昭和十七年人絹絹統制会ができ、その役員の一人となり東京住いとなりました。三菱重工の玉井さんの御世話で霞ヶ関ゴルフクラブの会員となりました。

ある日霞ヶ関ゴルフ場でプレーしていると頭上をB29が飛んでいました。三井重工の玉井さんの御世話で霞ヶ関ゴルフクラブの会員となりました。

いるので驚いてプレーを止めました。名古屋に初めて空襲があったが名古屋に初めて空襲があったのだと後で知りました。

昭和二十六年森新治さん、菊池秋夫さんと一緒に米国に行きました。用談が遅々として拂らなかつたので気分転換のためゴルフに行くことになりました。行つた処はアメリカ随一の難コースとして有